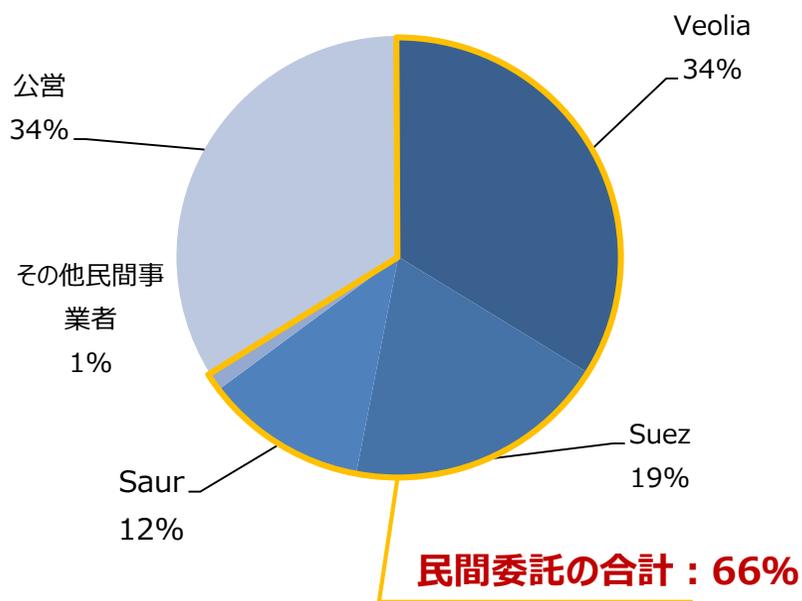

2. わが国水道事業のソリューションの方向性 (案)

フランスにおける水道事業(概要)

- コミューン=地方公共団体（全国で約36,000存在）が供給責任を有するが、2013年時点で、**約65%が民間委託**
- 委託先は**上位3社で寡占状態のため、民間ベースで事実上広域化が実現**
- パリ市等で再公営化の動きがあるが、実態は「公社化」（=出資者の交代）

フランスにおける水道事業の委託シェア
(2013年)



大手三社の概要

	総資産	売上高
Veolia 1853年にリヨン市にて設立。フランス国内初の民間水道事業会社。世界的水メジャーの1社	4.6兆円	3.2兆円
Suez 1858年設立。現在は水・廃棄物処理事業を行う、同じく水メジャーの1社	3.5兆円	1.9兆円
Saur 1933年設立。水・廃棄物処理事業やインフラ関連事業を行う	1,750億円	1,769億円

出典：各社HPを基にDBJ作成、Veolia/Suezは2015FY、Saurは2011FY

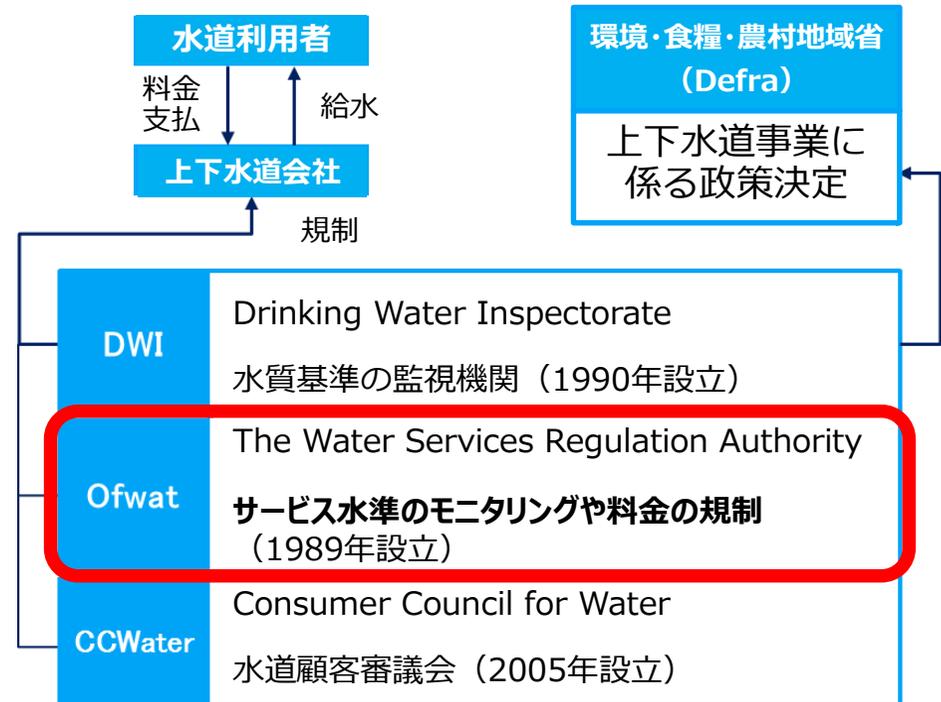
英国における水道事業(概要)

- 英国の水道事業は、1973年に**地域独占の10公社**に**広域化**された後、1989年に**民営化**
- 公社化以降、自治体関与は基本的になく、**日本の電力に近いイメージ**
- 民営化以降、**公的な規制・モニタリング機関であるOfwat**が、サービス水準のモニタリングや料金の規制を実施。この仕組みへの内外の評価は高く、外資含む民間投資も進展

英国における水道の歴史

19世紀	産業革命に伴い、水需要が拡大
20世紀初	約2,000の水道事業者が存在
1945年	統合・中央集権化へ
1973年	流域単位で大きく10地域に再編され、「水管理公社」設立
1989年	水管理公社や水道会社の株式が売却され、民営化
現在	イングランド・ウェールズにおいて上下水道会社21社

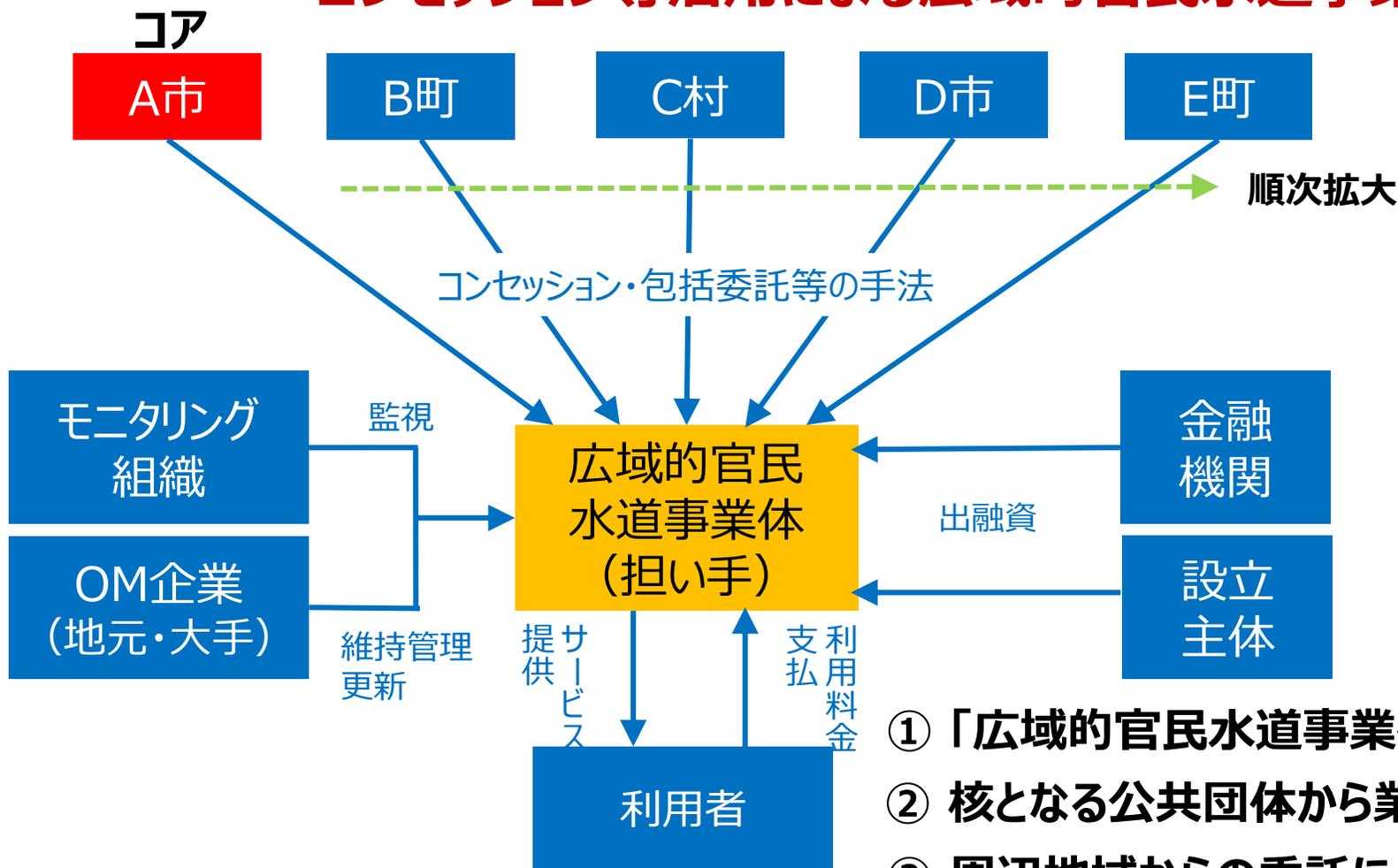
英国における水道事業の枠組み



出典：内閣府・日本政策投資銀行・日本経済研究所

官民連携を通じた実質的広域化スキーム ～イメージ～

～コンセッション等活用による広域的官民水道事業～



- ① 「広域的官民水道事業体」の組成
- ② 核となる公共団体から業務委託
- ③ 周辺地域からの委託による広域化の実現